

Power to the Children 2017 in Chiba

親子関係はどう語られてきたか？ ～メディアリテラシー的に読み解く

「自分を虐待した親を、愛せなくてもいい」

そんなメッセージを発信し、「家族神話」を崩壊させ、1997年に話題になった『日本一醜い親への手紙』。

20年後の今年2017年、新たに公募が行われ、親から虐待された100人の手紙を収録した『日本一醜い親への手紙 そんな親なら捨てちゃえば？』(Create Media 編／dZERO 刊)が全国の書店などで出版された。

そこで、この本を「Create Media」名義で編集したフリーライター・今一生の講義を開催。

子どもの頃に親から虐待された人たちへの取材経験から、日本における親子関係がどのようにメディアで語られ、子ども虐待を放置する現代に至ったかを、TVドラマや流行歌を含むサブカルチャーから浮かび上がらせるスペシャル講義(※予約すれば、学外の方も参加可)。

- 11月14日(火) 開場 AM12:40 AM12:50～PM2:20
- 千葉大学 西千葉キャンパス(西千葉駅東口から徒歩)
教育学部 2号館 2階 2208
- 入場料:無料(※学外の方は20名限定)

前日昼1時までには下記アドレスへ名前を伝え、ご予約を！

※入場者は終了後に楽しいオフ会に参加可(別料金)

● お問合せ: 今一生 conisshow@gmail.com

● 関連書籍

letters-to-parents.blogspot.jp

